

StationTVLink 取扱説明書

はじめに

本書について	2
制限事項	2
動作環境	3

ご利用の前の準備	4
----------------	---

基本操作

リスト画面	5
再生画面	6
視聴画面	7

設定

接続する機器を指定する	8
フルスクリーンで表示する	8
字幕を表示する	8
音声を切り換える	9
音声の出力方法を切り換える	9
すべての番組を先頭から再生する	9

メニューバーでの操作	10
------------------	----

Q&A	11
-----------	----

アンインストール	12
----------------	----

お問い合わせ先	13
---------------	----



はじめに

本書について

- 本書では Mac の基本的な操作については記載していない場合があります。メニューの選択やウィンドウ操作などは Mac の一般的な操作手順に準拠しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点などがございましたら弊社ユーザーサポートセンターへご連絡ください。
- 本書で使用しているアプリケーション画面は、お使いの OS によって実際とは異なる場合があります。
- 本書の閲覧には Adobe Reader を使用されることをおすすめします。

- ・ Mac、OS X、MacBook、MacBook Air、iMac は Apple Inc. の商標です。
- ・ Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ・ Adobe、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国および / または各国での商標または登録商標です。
- ・ その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標もしくは登録商標です。
- ・ 本書では © および ™ などの商標マークは省略させていただく場合があります。

本書では以下のマークを使用しております。

マーク	内容
	このマークのある項目は、気を付けていただきたい内容について記述しています。
	このマークのある項目は、参考にさせていただきたい内容について記述しています。

制限事項

- 体験版をご利用の場合は一度の再生が 5 分間に制限されます。制限を解除する場合はシリアルキーを購入してください。
- StationTV Link で視聴するコンテンツについて、制作者の著作権を侵害するような行為を行うと、著作権法に基づき罰せられることがあります。
- StationTV Link と他のテレビ視聴ソフトウェアとの同時使用は保証しておりません。
- StationTV Link の多重起動はできません。
- 起動中はスリープやスクリーンセーバーへの自動移行はできません。
- 起動中は、画面キャプチャができません。
- 画面共有の動作中は起動できません。
- マルチ映像で放送されている番組では、第 1 映像のみ表示できます。
- サイドバイサイド方式の 3D 番組を視聴するための表示切換には対応していません。
- データ放送の表示には対応していません。
- データ放送専用番組の表示はできません。
- Mac を複数ユーザーで使用する場合、設定や状態を共有することはできません。

動作環境

以下の条件を満たす Mac で使用できます。

対応 OS	Mac OS X v10.9 以降
対応機種	・ 2011 年以降発売の MacBook Air / MacBook Pro / iMac / Mac mini ・ 2013 年以降発売の Mac Pro
CPU	Intel Core i シリーズまたは同等以上の CPU
メモリ	2GB 以上
ハードディスク	インストールに 100MB 以上の空き容量が必要
ディスプレイ	内蔵ディスプレイおよび、以下のポート経由での HDCP 対応ディスプレイへの出力 (デジタル放送コンテンツ保護規定のため) ・ Mini DisplayPort ・ Thunderbolt ・ Thunderbolt 2 ・ HDMI
サウンド	Mac 内蔵の音声出力機能または外部スピーカー
ネットワーク環境	有線 LAN または無線 LAN * 無線 LAN で接続する場合、WEP 互換以上の暗号化方式で接続する必要があります。
インターネット環境	アプリケーションのアップデートと DTCP-IP ライセンス認証のためにインターネットに接続できる環境が必要
その他	取扱説明書 (本書) 閲覧のために、Adobe Reader のインストールを推奨

* Mac 本体の改造や StationTV Link の改ざんなどを行った環境では使用できません。

- !** 本アプリケーションを使用するために最低限必要な環境です。すべての機能の動作を保証するものではありません。
また、上記は 2015 年 3 月時点での対応状況です。最新情報はホームページ (<http://www.pixela.co.jp/>) に掲載しています。

ご利用の前の準備

1. アクセスポイントに接続する

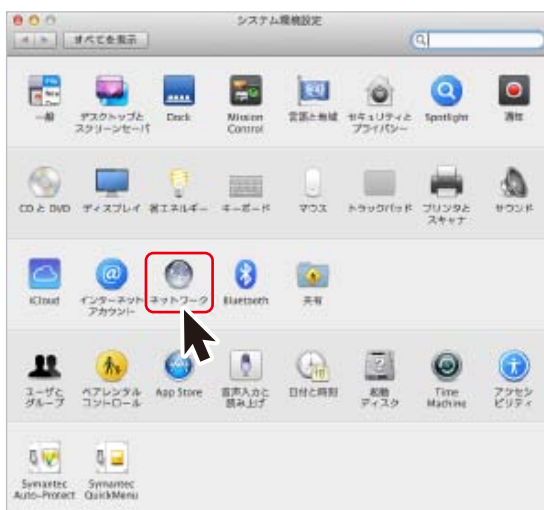
お使いの Mac をネットワークに接続します。

! Mac とルーターを LAN ケーブルで接続している場合、この手順は不要です。次の手順に進んでください。

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] をクリックします。



- 2 [ネットワーク] をクリックします。



- 3 [Wi-Fi] をクリックして、「ネットワーク名」で接続先を選びます



* アクセスポイントが表示されるまでに時間がかかる場合があります。

! エラーメッセージが表示される場合
接続するアクセスポイントとパスワードに間違いがないかを確認してください。また、Mac と無線ルーターが離れているときは近い場所で試してください。

2. StationTV をインストールする

- 1 ダウンロードした [stationtvlink_xxx.dmg] を解凍します。

- 2 (StationTV Link) を起動ディスクの [アプリケーション] フォルダにドラッグ&ドロップします。

* [stationtvlink_xxx.dmg] の「xxx」はバージョンによって異なります。

➡ 以上でインストールは完了です。

3. ネットワーク上の機器の配信を設定する

StationTV Link で接続しようとしている機器で配信の設定をします。

- 1 利用する機器をネットワークに接続します。
- 2 利用する機器でネットワーク上への配信を設定します。

* くわしい設定方法はお使いの機器の取扱説明書を参照してください。

➡ 以上でご利用前の準備は完了です。

基本操作

リスト画面

StationTV Link を起動すると最初に表示される画面です。この画面から録画番組の再生、放送中のテレビ番組の視聴、サーバーの設定などを行います。

録画番組

録画番組のリストを表示します。

放送中

放送中のテレビ番組のリストを表示します。

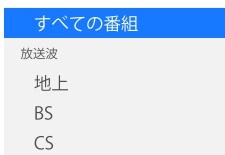
現在接続中のサーバー

メニューから接続するサーバーを選べます。

最近録画した番組

8日以内に録画された番組だけを表示します。

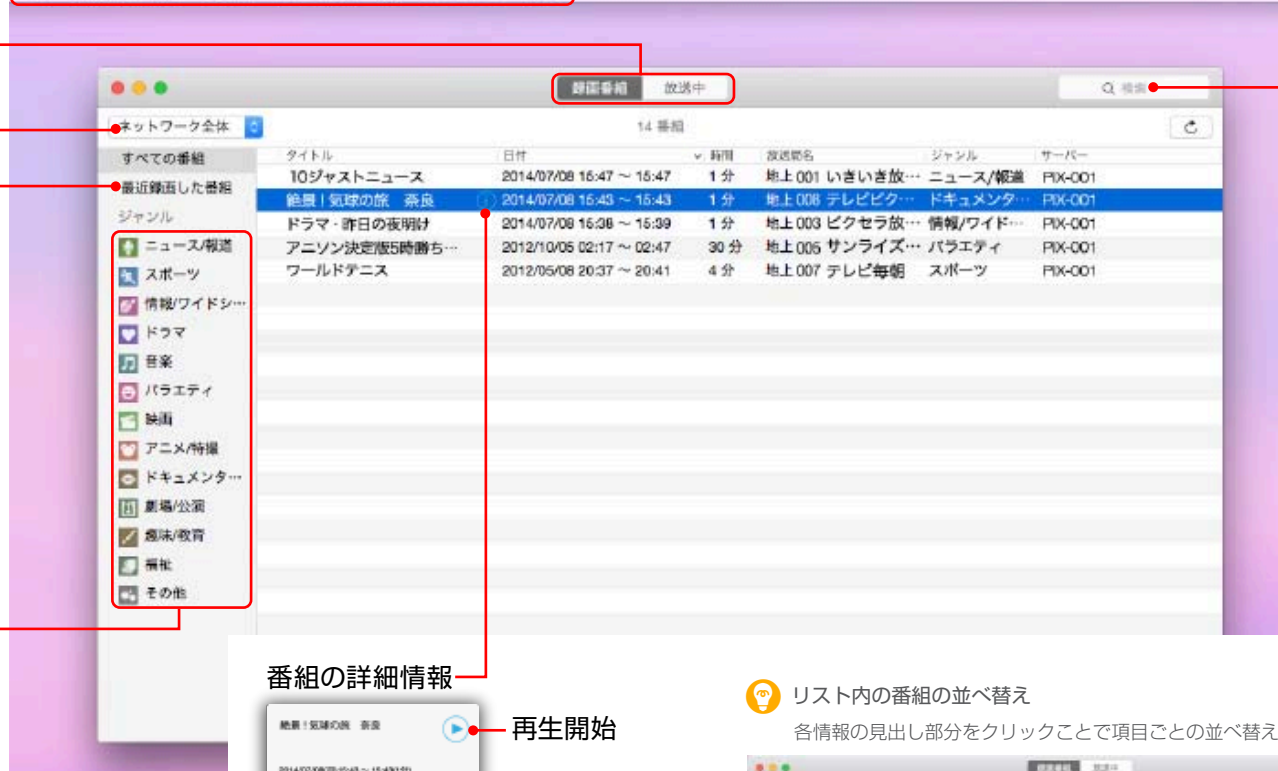
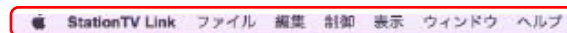
[放送中]タブを選択しているときは、放送波を選ぶことができます。



ジャンルで絞り込み

選択したジャンルに該当する番組だけを表示します。

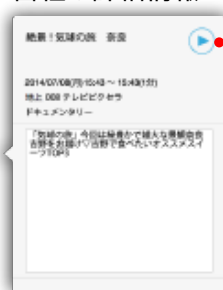
メニュー



番組検索

キーワードでリスト内の番組を検索します。

番組の詳細情報



再生開始

リスト内の番組の並べ替え

各情報の見出し部分をクリックすることで項目ごとの並べ替えができます。

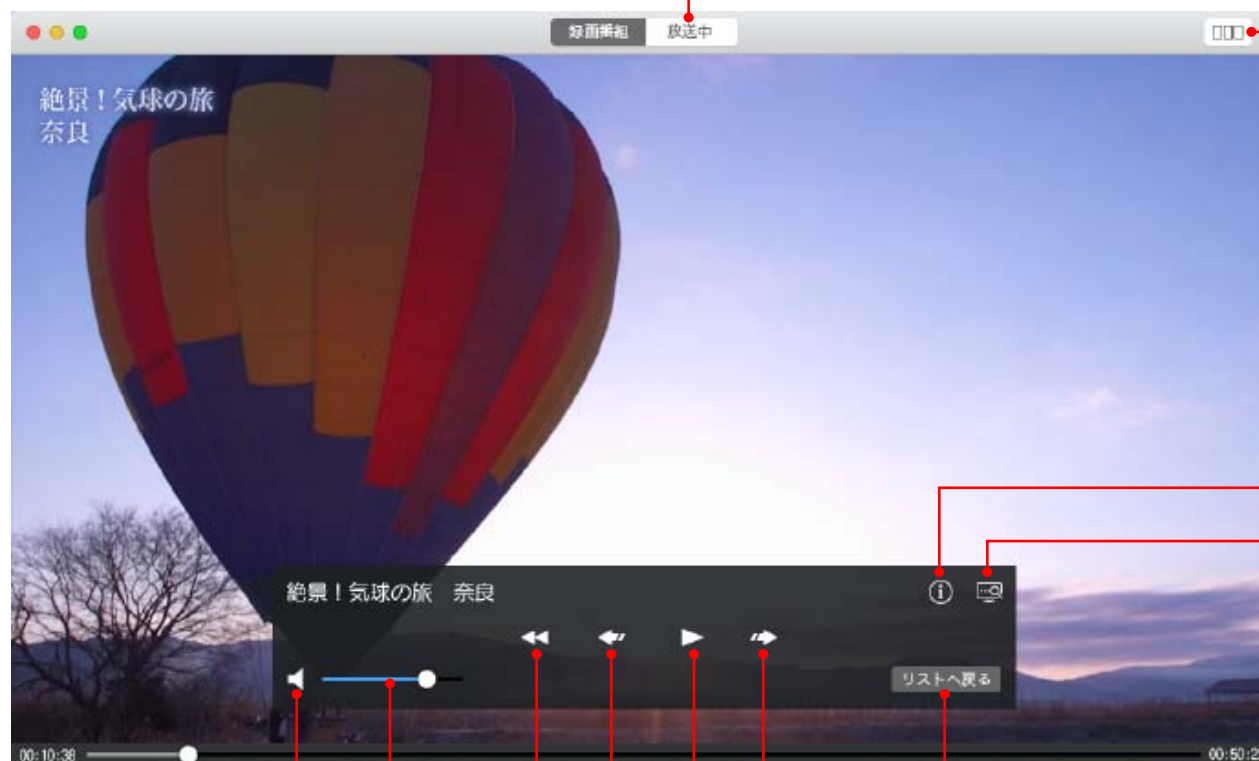


再生画面

接続したネットワーク上の機器に録画番組が保存されている場合、録画番組を再生することができます。

🔔 番組が途中から再生されるとき

一度再生したことのある録画番組は、前回停止した位置から再生が始まります。最初から再生するときは、[番組の先頭へボタン] をクリックしてください。



消音/消音解除

音量調節

番組の先頭へ

再生/一時停止

リスト画面へ

リスト画面へ

リスト画面の放送中リストに戻ります。

再生する番組の変更

クリックすると、録画番組のカードが表示されます。番組を選ぶと、その番組の再生が開始されます。



番組詳細

検索結果の表示

番組詳細の中に URL がある場合は、そのページを表示します。URL がない場合は、番組名をキーワードにした検索結果を表示します。

視聴画面

接続したネットワーク上にテレビを受信できる機器がある場合、現在放送中のテレビ番組を再生することができます。



リスト画面へ

リスト画面の録画番組リストに戻ります。

チャンネル切換

クリックすると、現在放送中の番組のカードが表示されます。番組を選ぶと、そのチャンネルに切り換わります。



番組詳細

検索結果の表示

番組詳細の中に URL がある場合は、そのページを表示します。URL がない場合は、番組名をキーワードにした検索結果を表示します。

消音/消音解除

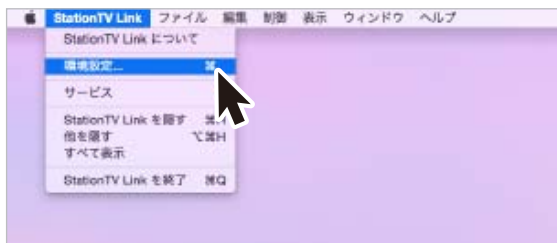
音量調節

リスト画面へ

接続する機器を指定する

ネットワーク上のどの機器に接続するかを指定します。
最大で 10 台まで接続できます。

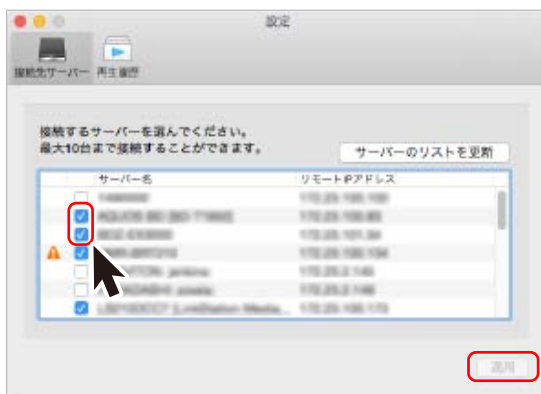
- 1 [StationTV Link] メニューの [環境設定...] をクリックします。



- 2 [接続先サーバー] をクリックします。



- 3 接続するサーバーにチェックを入れて、[適用] をクリックします。



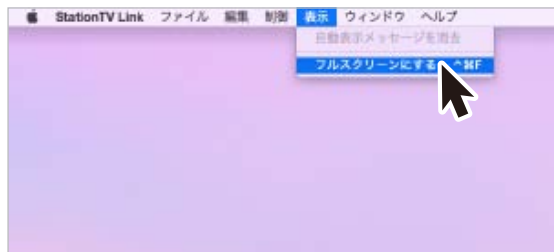
🔍 目的の機器が見つからないとき

[サーバーのリストを更新] をクリックしてください。それでも見つからないときは、機器の接続や設定に問題がないか確認してください。

フルスクリーンで表示する

ウィンドウを画面いっぱいに表示します。

- 1 [表示] メニューで、[フルスクリーンにする] をクリックします。

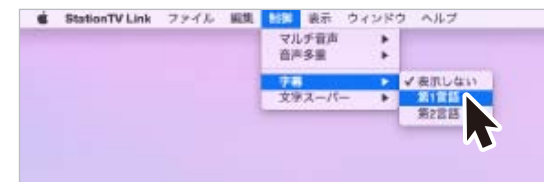


字幕を表示する

録画番組の再生時に字幕を表示します。

* 番組およびコンテンツを受信/録画した機器が字幕の表示に対応していない場合は表示できません。

- 1 [制御] メニューで、[字幕] を選択します。
- 2 [第 1 言語] / [第 2 言語] から選びます。



* 番組の字幕に第 2 言語がない場合は、第 1 言語で表示されます。

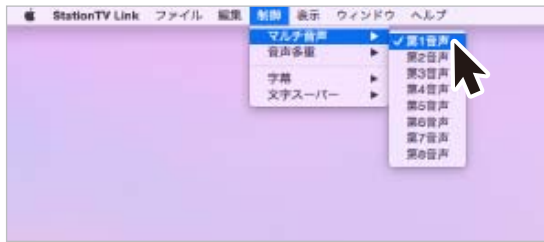
* 字幕を消すときは、[表示しない] にしてください。

音声を切り換える

録画番組の再生時に出力する音声を選べます。

* 番組およびコンテンツを受信／録画した機器が音声の切替に対応していない場合は表示できません。

- 1 メニューバーの【制御】をクリックします。
- 2 【マルチ音声】を選択します。
- 3 【第1音声】～【第8音声】から選びます。



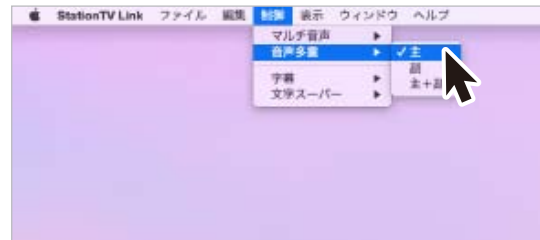
* 番組に複数の音声が含まれていない場合や、選択した音声が含まれていない場合は、【第1音声】で出力されます。

音声の出力方法を切り換える

録画番組の再生時に音声の出力方法を選べます。

* 番組およびコンテンツを受信／録画した機器が音声の切替に対応していない場合は表示できません。

- 1 メニューバーの【制御】をクリックします。
- 2 【音声多重】を選択します。
- 3 【主】／【副】／【主+副】から選びます。

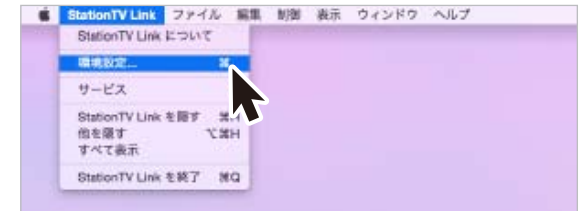


- * 番組が音声多重に対応していない場合や、選択した出力方法に対応していない場合は、【主】で出力されます。
- * 音声多重の設定を切り換えると、設定が適用されるまでの数秒間、映像と音声が表示されません。
- * マルチ音声第2音声～第8音声のときは、【主+副】の音声のみが出力されます。

すべての番組を先頭から再生する

録画番組の再生履歴を消去することで、すべての録画番組を先頭から再生するようにします。

- 1 【StationTV Link】メニューの【環境設定...】をクリックします。



- 2 【再生履歴】をクリックします。



- 3 【消去】をクリックします。



メニューバーでの操作

設定項目一覧

設定は画面上部のメニューから行います。

StationTV Link

StationTV Link について		StationTV Link の情報を表示します。 アプリケーションのバージョンを確認できます。
環境設定 ...	⌘ ,	StationTV Link の設定画面を表示します。
サービス		Mac の操作メニューです。StationTV Link では使用しません。
StationTV Link を隠す	⌘ H	StationTV Link のウィンドウを非表示にします。
他を隠す	⇧ ⌘ H	StationTV Link のウィンドウ以外を隠します。
すべて表示		起動中のすべてのアプリケーションのウィンドウを表示します。
StationTV Link を終了	⌘ Q	StationTV Link を終了します。

ファイル

ウィンドウを閉じる	⌘ W	前面のウィンドウを閉じます。 視聴画面ウィンドウが前面にある場合は StationTV Link を終了します。
-----------	-----	---

編集

Mac の操作メニューです。

制御

マルチ音声		音声（デジタル放送のマルチ音声チャンネルサービス）を切り換えます。
音声多重		音声チャンネル（「主」 / 「副」 / 「主+副」）を切り換えます。
字幕		字幕の表示や言語の設定を切り換えます。
文字スーパー		文字スーパーの表示や言語の設定をします。 * 文字スーパーは、ニュース速報や気象警報など、番組とは関係なく表示される情報です。

表示

フルスクリーンにする	⇧ ⌘ F	ウィンドウを画面いっぱいに表示します。
------------	-------	---------------------

ウィンドウ

常に手前に表示		ウィンドウを常に一番手前に表示します。
しまう	⌘ M	StationTV Link を Dock に格納します。
拡大／縮小		視聴画面ウィンドウを拡大または縮小します。
すべてを手前に移動 (表示中のウィンドウ)		StationTV Link のウィンドウをすべて手前に表示します。 現在表示しているウィンドウです。

ヘルプ

検索		この項目は Mac の操作メニューです。
StationTV Link ヘルプ		「StationTV Link 取扱説明書」（本書）を表示します。
最新の製品情報はこちら		ピクセラのホームページへアクセスします。

最新の Q&A についてはピクセラホームページをご覧ください。

<http://www.pixela.co.jp/>

? リスト画面に番組が表示されません。

↳ 以下の点を確認してください。

- お使いの Mac がネットワークに接続されていますか？
- StationTV Link で接続しようとしている機器がネットワークに接続されていますか？
- StationTV Link で接続しようとしている機器は、ネットワークへの配信に対応していますか？
- StationTV Link で接続しようとしている機器がネットワークへ配信できるように設定していますか？（使用する機器の取扱説明書を参照してください）

? [放送中] タブを選んでも番組が表示されません。

↳ ネットワーク上にテレビを受信できる機器がないときは表示されません。また、使用する機器がネットワークへの配信に対応しているかもあわせて確認してください。

? [録画番組] タブを選んでも番組が表示されません。

↳ ネットワーク上に録画番組を保存できる機器がないときは表示されません。また、使用する機器がネットワークへの配信に対応しているかもあわせて確認してください。

? 録画番組が途中から再生されます。

↳ 一度再生した録画番組は、前回停止した位置から再生されます。番組の先頭から再生するときは  をクリックしてください。

? つづきから再生されないようにする方法はありますか？

↳ [StationTV Link] メニューの [環境設定...] で [再生履歴] を選んで、再生履歴の消去を実行してください。

? 音声切り換えられません。

↳ 以下の場合、音声の切り換えはできません。

- コンテンツを受信／録画した機器が音声の切り換えに対応していないとき。
- 番組そのものが音声の切り換えに対応していないとき。

? 字幕が表示されません。

↳ 以下の場合、字幕の表示はできません。

- コンテンツを受信／録画した機器が字幕の表示に対応していないとき。
- 番組そのものが字幕の表示に対応していないとき。

? ネットワーク上の機器は何台まで接続できますか？


↳ 最大で 10 台まで接続できます。

? ネットワーク上の特定の機器のコンテンツを表示させないようにすることはできますか？

↳ [StationTV Link] メニューの [環境設定...] で [接続先サーバー] を選んで、コンテンツを表示しないサーバーのチェックを外してください。

アンインストール

StationTV Link をアンインストールする

- 1 [アプリケーション] フォルダの  (StationTV Link) を削除します。
- 2 キーボードの [option] を押しながら、Finder のメニューバーの [移動] をクリックし、[ライブラリ] を選びます。
- 3 [Preferences] フォルダ内の以下のファイルを削除します。
 - jp.co.pixela.StationTV-Link フォルダ
 - jp.co.pixela.StationTV-Link.plist
- 4 [Preferences] - [ByHost] フォルダの以下のファイルを削除します。
 - jp.co.pixela.StationTV-Link.XXXXXXXXXX-XXXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXXXXXXX.plist

* xxxxxxxxxxxx の部分はご使用の環境によって異なります。

以上でアンインストールは完了です。

お問い合わせ先

株式会社ピクセラ ユーザーサポートセンター

StationTV Link についてのご質問・ご相談は、ユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。

受付時間：月曜日～日曜日 10：00～18：00（年末年始、祝日を除く）

固定電話でご利用の場合：フリーダイヤル

 **0120-727-231**（無料）

携帯電話でご利用の場合：ナビダイヤル

 **0570-064-246**（通話料がかかります）

フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用できない場合

FAX：**06-6633-2992**（通信料がかかります）

24時間受付（回答にお時間をいただく場合があります）

株式会社ピクセラ ホームページ

製品の最新情報やダウンロードなどは、下記のホームページをご覧ください。

<http://www.pixela.co.jp/>

ライセンス

本アプリケーションは以下のライセンスを使用しています。

Portable SDK for UPnP Devices (libupnp) License

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

*Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

*Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Boost License

Boost Software License - Version 1.0 - August 17th, 2003

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the "Software") to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following:

The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

OpenSSL License

*Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1.Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5.Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6.Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, an as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com) The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS"AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]